

10 脊髄損傷患者の巻き爪に対する実態調査

看護部 2F病棟 尾竹ますみ 秋本かおり 関口亨

1. はじめに：高齢者や糖尿病患者のフットケアの必要性や予防の重要性は称られているが、同じ神経障害や運動障害をもつ脊髄損傷患者においては爪のケアへの関心が薄いのはなぜだろうか。当病棟に入院している脊髄損傷患者において足の爪の変形や巻き爪を起こす患者が多いと感じており、退院後に巻き爪のために外来受診している患者も少なくない。こうしたことから、効果的なケアや指導が行われているのか見直す必要があると考えた。本研究は脊髄損傷者の巻き爪の発症状況、治療や予防の指導とその効果について明確にすることを目的とした。

2. 期間：平成 18 年 10 月 2 日～10 月 20 日

3. 対象：外来通院の脊髄損傷患者 68 名、入院中の脊髄損傷患者 39 名の合計 107 名。

78 名分回収…回収率 72.9% (図 1-1～4)

4. 方法：記入式質問紙調査

5. 結果・考察：

今回の調査から脊髄損傷受傷後に巻き爪を経験する人が多いことがわかった(表 1-1)。痙性麻痺があると回答した人のほうが巻き爪の発症率が高いことから、痙性麻痺による足趾へ圧迫等の刺激が要因と考えられた(表 1-2)。脊髄損傷者は感覚障害があることから圧迫や刺激などに気づきにくい。靴の中で足趾が曲がったままになっていないか、靴の中に異物が入っていないかなど意識して注意する必要がある。町田は「爪母は爪を作るだけで、形を作る機能はない」と述べている。従って生えた爪は外部の圧力の影響を受け形作られることとなる。脊髄損傷者は歩行困難な人が多いため足底方向からの圧力が少ない状態にある。この状態に外部からの圧力が加われば巻き爪のリスクが上昇すると考えられる。巻き爪予防の為に足の保護を目的とした自分の足に合う靴を選択していく必要がある。次に爪に変化を感じている人に巻き爪が多かったことから脊髄損傷者の爪の変化を観察していく必要があると考える。爪の変化としては「厚みの変化」、「硬度的変化」、「爪病変」があった(表 1-3)。爪の変化を観察し、正しい爪の切り方や、爪の保護、爪病変の治療を行なう事が巻き爪の予防に重要なこととなる。予防法の指導については、巻き爪に関する指導を受けた経験のある人が 3 割と少なく、指導を受けた人の多くは巻き爪経験者だった(表 2)。また、病棟で指導している「長め、直線状に切る」を実践している人に巻き爪の発症率が高かった(図 2-1～4)。つまり巻き爪を発症してから指導を受けている人が多く、全ての脊髄損傷者を対象に予防を目的とした指導が実施されていない状況にあると考える。このことから重要な合併症の 1 つでありながらも、例えば褥瘡のように ADL に大きな影響を与えないため、現場では軽視されている傾向にあると考えられた。巻き爪の治療については根治術や爪矯正など専門的な治療を受けている人は少なく、消毒や爪切りといった対症療法的な治療を受けていた人が多かった(表 3)。今回の調査から、巻き爪は対症療法での完治は困難で再発率も高い疾病であること、悪化、長期化しやすいことがわかった。観察することが足のケアの始まりであり、爪に変化を生じさせないよう爪病変の治療、適切な爪のカット等のケアを実施していくことが重要になる。

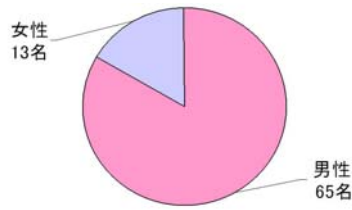


図1-1 対象の性別

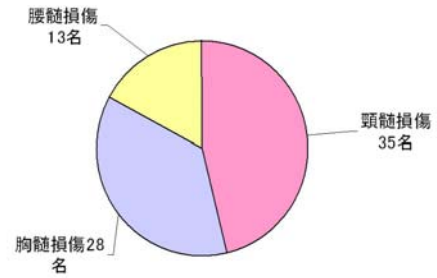


図1-2 障害名

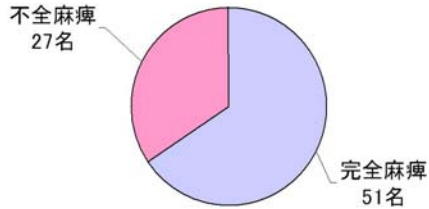


図1-3 完全麻痺・不全麻痺



図1-4 受傷後の経過期間

表1-1 巻き爪の発症状況

n = 78

	巻き爪の経験あり (%)
受傷前	5名 (6.4)
受傷後	33名 (44.1)

表1-2 痙性麻痺

	巻き爪の発症状況
よくある・たまにある	24/49名 (49.0%)
全くない・殆どない	8/25名 (32.0%)

☆ 再発経験の人は15名 (45.5%)

表1-3 爪の変化

	人数	巻き爪経験者
厚くなった	20	12名 (60.0)
薄くなった	16	8名 (50.0)
硬くなった	25	13名 (52.0)
軟らかくなった	7	2名 (28.6)
変色した	17	9名 (52.9)
垢が溜まりやすい	14	5名 (35.7)
その他	25	9名 (36.0)

表3 治療について

複数回答

治療内容	人数 n = 23
爪を切った	19
消毒をした	14
爪を抜いた	5
根治術を行った	3
ワイヤーを入れた	0

☆これらの治療で「治った」と回答した人は7名 (30.4%)

表2 予防について

巻き爪予防の指導を受けた経験のある人	78名中22名 (28.2%)
指導を受けたことのある人のうち巻き爪の経験者	22名中16名 (72.7%)
指導を受け予防法を実施した結果、「治った」「少し良くなった」人	22名中6名 (27.3%)

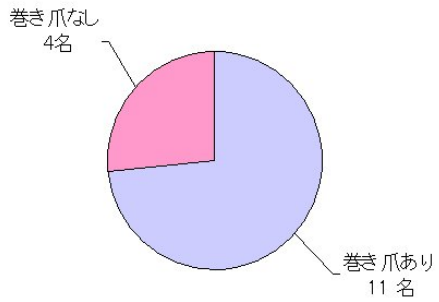


図2-1 爪の切り方：長めに切る

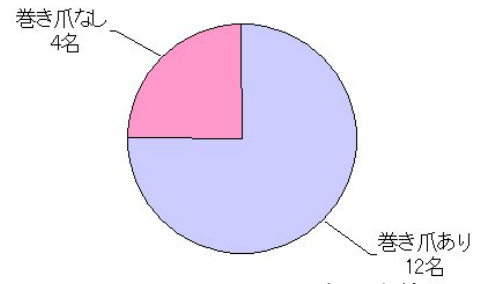


図2-2 爪の切り方：直線に切る

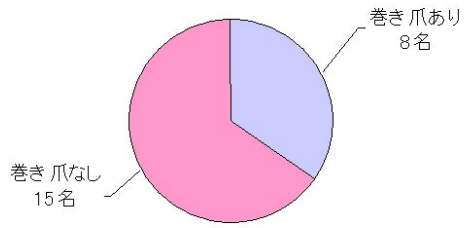


図2-3 爪の切り方：短めに切る

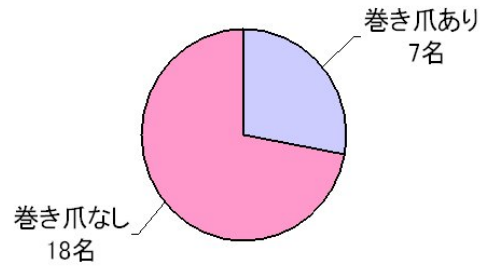


図2-4 爪の切り方：丸く切る